

# 2008年度事業計画

## 外国にルーツを持つ子どもたちのための教育事業

### ■たぶんかフリースクール

#### 目的

日本の中学校に入れず、学ぶ場や居場所のない子どもたち（学齢超過児と中学卒業者）や来日期間が浅く日本語の初期指導が必要な子どもたちに対して、毎日通えて日本語と教科を勉強できる学びの場と居場所を提供し、最終的には高校進学につなげることを目的とし、外国籍の子どもたちが教育を受ける権利を享受できる環境の実現をめざす。

#### 事業内容

1. 開催期間：2008年4月～2009年3月（毎週3～4回 火から金）

2. 内容

1) 「昼クラス」（対象：主に学校に通えない子どもたち）

時間：週4回 13:00～16:20

内容：日本語及び教科（国語、数学、英語、理科、社会）及び居場所の提供。

2) 「夜クラス」

対象：小学校5年生～中学3年生

荒川区「ハートフル日本語適応指導事業（補充学習指導）」対象者を含む

時間：週3回 18:00～20:10

内容：日本語及び教科（国語・数学） 英語に関しては選択者のみ週1回行う

#### 事業目標

小学校高学年、中学生、学齢超過の子どもたちへの効果的な日本語及び教科学習のノウハウ、教材の蓄積と高校進学。クラス平均6～8人、年間50人程度の生徒に対して日本語のサポートを行う。

### ■教育・進学相談

目的 外国籍の子どもたちのための教育・進学相談を行う。

#### 事業内容

1. 教育・進学相談

センター及び進路ガイダンス実施時に、年間100件程度の相談を行い、外国籍の親子へのサポートを行う。

## ■子どもプロジェクト

### 目的

以下の2つの活動を柱とし、子どもたちへの力づけ（エンパワメント）を行っていく。

### 事業内容

1. **ボランティアによる学習支援** 土曜日：14：30～16：30  
ボランティアベースでの教科と日本語の学習支援を、週1回行う。基本的にはボランティア中心の運営で、マンツーマンによる指導を行う。
2. **子どもたちの居場所づくり**  
学習以外でも、同じ状況の子ども同士が交流する居場所づくりを目指す。

### 事業目標

年間30人程度の子どもに対して、ボランティアによる教科支援と居場所づくりを行う。

## ■日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンス

### 目的

日本の教育事情にうとい在住外国人の親子のために日本の高校について、また進路・進学・教育制度全般について理解を深めてもらうことをめざす。

### 事業内容

東京都内で計2回、多言語による逐次通訳の体制を組み、高校進学についての説明会と教育相談を実施する。通訳は英・中・韓・スペイン・タガログ・タイの6言語を予定。「多文化共生センター東京」、「カトリック東京国際センター」「多文化共生教育研究会」「世界の子どもと手をつなぐ学生の会」で実行委員会を構成し、事務局は「多文化共生センター東京」が担う。

### 事業目標

合計200名の日本語を母語としない親子に対して、進路、教育制度についての情報を提供する。ガイダンス後、個別でのフォローを実行委員会の団体がを行い、高校進学までのサポートを行う。

## ■教育に関する調査活動とデータ作り

### 目的

東京都の外国にルーツを持つ子どもたちに関する教育関係のデータを作り、子どもたちの実態を明らかにする。

### 事業内容

主に東京都の「学校基本調査報告」、「公立学校統計調査報告書【学校調査編】」及び「日本

語を母語としない親子のための進路ガイダンス」時に協力をいただいた多言語アンケートの集計と分析を中心に資料を作成する。

## 外国人の家族と子育て支援事業(ファミリーサポート事業)

### ■外国人親への子育て支援ネットワーク(多文化子育てネット)

#### 目的

子育て中の外国人親と地域との共生を目指し、保健師、保育士、児童館職員、日本語ボランティア、外国人支援NPO、行政など外国人親子に関わる人たちが研修会を通して集い、課題を共有し、且つ解決に向けて共に活動出来るネットワークづくりを行う。

#### 事業内容

##### 1. 外国人の子育て支援のための研修会(年3回実施)

研修会を定期的実施し、外国人親子の抱える課題について理解を深めると共に、外国人親子に関わる人たちが顔の見える関係づくりを行う。

##### 2. 多文化子育てネットメーリングリストの運営

研修会参加者を中心に、外国人親子に関わる人、学生、当事者などが参加し、情報交換のできるメーリングリストを開設する。

#### 事業目標

研修会で外国人親子に関わる様々な人たちの顔の見える関係を作り、メーリングリストによって互いの活動、ノウハウ、課題を共有する。保健所や係わるグループへのサポートによって、各地域での外国人の子育てへの取り組みが促進される。

### ■多言語生活相談窓口

#### 目的

多言語による生活相談の窓口を開設し、結婚・離婚・子育てなどの家族の問題に対してサポートを行う。

#### 事業内容

##### 1. 多言語生活相談窓口

対応言語：日本語・英語・中国語(常時)・韓国/朝鮮語・スペイン語など(予約制)  
相談体制：スタッフ・スーパーバイザー(行政書士、弁護士)

#### 事業目標

年間50件ほどの相談対応によって、外国人の家族の問題や子育てなどのサポートを行う。

## ■外国人親のための日本語スキルアッププログラム

### 目的

国際結婚した外国人配偶者が増える中、地域社会ではまだまだ受け入れが進んでいるとは言えず、地域社会に参加出来ない人も多い。地域では、友だちが出来ずに社会に出られなかったり、学校からのお便りが読めずに困っているケースが目立っている。仕事の面では、長時間労働や夜間の仕事などが多く、就ける仕事の選択肢が限られている。同時に、母国では働いていたけれど日本では家にいることにもどかしさを感じている人、もっと自分をいかせる仕事がしたい人、何か新しいことをはじめたいと思っている人も多い。

そこで外国人親（配偶者）を対象に、読み書きを中心とした日本語や、仕事に必要な様々なスキルアップ機会の提供と、学んだ日本語を使いながら働ける場づくりを通して外国人親（配偶者）を仕事につなげ、日本の社会で活躍する人材を育成する。

### 事業内容

2009 年度に就労の場オープンに向け、2008 年度には、土台づくりとして外国人親のニーズや、先行事例の情報収集などを行うとともに、日本語などスキルアップの場を設ける。

### ■スキルアップの場

#### 「外国人親のための日本語クラス」

期間：4-7月・9-12月・1-3月 時間：1回2時間×週3回

日本語の読み書きの習得を目指し、漢字を中心に、多読や丁寧な表現の会話などの授業を行う。

#### 「ボランティアによる学習サポート（週1回・1時間半程度）」

日本語クラス参加者や修了者、日時が合わずに参加できない外国人親も対象に、一対一で漢字や学校のお便りなどをボランティアベースでサポートする。

#### 「就労支援のためのスキルアップ講座」

イベントづくりなどを通して学んだ日本語を実践的に使える場を提供する。

### ■就労の場（09 年度スタート予定）

#### 就労の場づくり

外国人親が学んだ日本語などを活かして働ける場を立ち上げる。仕事の内容は、現場の仕事だけではなく、事務や管理的な仕事もできるようなもので、企画や売上管理、営業、電話対応なども関わることで、就業を通して仕事に使う日本語やパソコンなど様々なスキルアップの機会を提供する。

09 年度の就労の場実現にむけて、08 年度は外国人女性のニーズ把握、先行事例の情報収集、マーケティング、勉強会、関わってくれる外国人配偶者集めなどの準備を行う。

## 多文化共生のための人材育成事業

### 目的

多文化共生にかかわる研修への講師派遣を行う。その他、活動にかかわるボランティアやフリースクールの講師を対象とした研修や、一般の方を対象としたボランティア講座など、多文化共生社会を担う人材育成を行う。

### 事業内容

#### 1. 講師派遣

国際交流協会や行政などが行う多文化共生関連の研修に対して、講師の派遣を行う。

派遣件数：約 50 件

#### 2. 研修事業

「たぶんかフリースクール」に関わる講師や、多文化共生センター東京の活動に関わるボランティアを対象に研修事業を行う。

#### 3. 多文化共生のためのボランティア講座

多文化共生センター東京の活動やボランティア活動に関心のある方を対象に、月 1 回の講座を行う。内容は基礎的な知識などを中心に行う。

### 事業目標

年間 50 件の講師派遣を行う。ボランティア講座では 1 回 8 名程度、年間で 100 名程度に対しての講座を行う。

## 多文化共生に関する情報提供事業

### 目的

活動と理念に対する認知を高め、多くの方に賛同・支援をいただくため、ニュースレター、ウェブ／メルマガなどの媒体を使用し、広報活動を行う。

### 事業内容

#### 1. 多言語情報提供

当センターで作成した多言語情報の配布など、外国人にとって必要な情報を多言語で提供する。

#### 2. ニュースレター(みんぐる)

多文化共生センター・東京の活動報告などを中心に行う。(年4回)

#### 3. WEB/ブログ

多言語での情報提供、活動の報告などをブログなども活用しつつweb上で行う。

#### 4. メルマガ(多文化 NEWS from Tokyo)

外国人関係のニュースや、お勧め映画・本、イベント情報、団体の活動内容などを盛り込んだメルマガを配信(月1回)

#### 5. メーリングリスト(多文化だより)

活動内容を報告する会員向けメルマガをML上に流しMLの活性化を図る。

#### 6. 多文化映像製作

多様化する現状を映像を通じて紹介する。学校での教材や、講演などでも活用できるビデオ教材を作成する。

### 事業目標

web やニュースレター等でセンターの活動とともに日本で暮らす外国人の現状や多文化共生への関心を社会に広める。

# 2008年度予算

## 2008年度 特定非営利活動にかかる事業会計収支予算書

2008年 4月 1日から 2009年 3月 31日まで

特定非営利活動法人多文化共生センター東京  
(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I 収入の部</b>		
1 会費・入金収入 会費収入	1,200,000	1,200,000
2 事業収入 外国にルーツを持つ子どもたちのための教育事業 生活相談等による外国人の家族と子育て支援事業 多文化共生に関する情報提供事業 多文化共生のための人材育成事業	8,400,000 1,155,000 600,000 3,000,000	13,155,000
3 補助金等収入 民間助成金収入	600,000	600,000
4 寄附金収入 一般寄附金	2,720,000	2,720,000
当期収入合計		17,675,000
前期繰越額		5,968,903
収 入 合 計		23,643,903
<b>II 支出の部</b>		
1 事業費 外国にルーツを持つ子どもたちのための教育事業 生活相談等による外国人の家族と子育て支援事業 多文化共生に関する情報提供事業 多文化共生のための人材育成事業	9,650,000 1,160,000 840,000 3,000,000	14,650,000
2 管理費 事務局給料手当 光熱水費 通信運搬費 租税公課 法定福利費 その他管理費	1,500,000 250,000 120,000 120,000 720,000 300,000	3,010,000
当期支出合計		17,660,000
当期収支差額		15,000
次期繰越収支差額		5,983,903





## 2008 年度役員

代表理事	王 慧槿
専務理事	柴山 智帆
専務理事	飯田 秀夫
理事	李 炫澈
理事	鈴木 江理子
理事	関口 耕一郎
理事	田中 阿貴
理事	田村 太郎
理事	野原 直子
理事	原田 麻里子
理事	福田 和久
監事	小林 千春